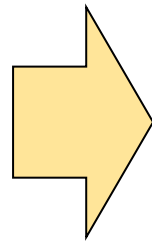
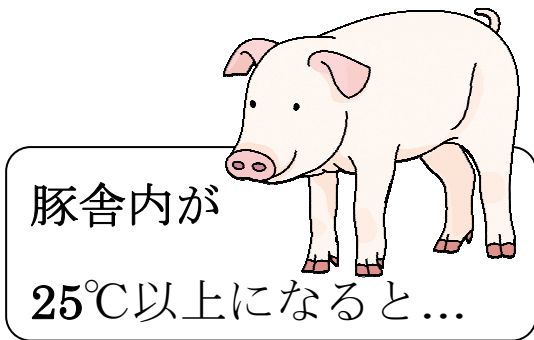


家畜衛生だより

令和4年6月発行 No.20
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL 0235(68)2151
FAX 0235(66)2466

暑熱対策について（豚編）



繁殖成績・生産性 低下の原因に！

気象庁によると今年の夏は平年より気温が高くなると予想されています。暑熱対策は畜舎環境面と飼養管理面の複数の対策を組み合わせることでより効果的となります。早めに対策を行い、夏を乗り切りましょう！

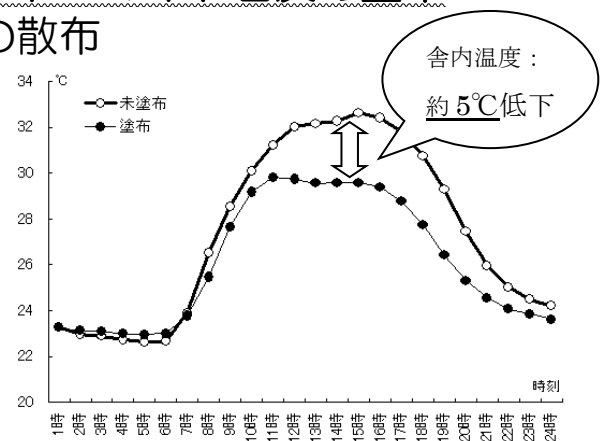
《畜舎環境面の対策》

○遮光、断熱

- ・つる性植物によるグリーンカーテン、遮光ネット、ひさし等の利用
- ・屋根、壁、床等への断熱材の設置
- ・屋根・飼料タンク等への断熱塗料、ドロマイト石灰の塗布
- ・豚舎周囲への消毒を兼ねた消石灰の散布



グリーンカーテンの実施例



舎内温度：
約5℃低下

※温度は3日間の平均

ドロマイト石灰塗布による屋根裏温度の推移
県農業総合研究センター養豚研究所 研究報告より

○換気、送風

窓の開放、換気扇や送風機の稼働、畜舎周囲の除草を行い、風のとおり良くする

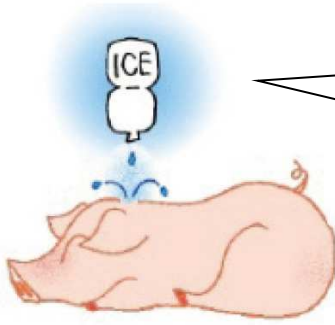
- ・特に種豚は熱中症にかかりやすいため涼しい環境を整える
- ・哺乳豚・離乳豚には直接風を当てない
- ・水で濡らした場所に送風する（豚房全体へは当てない）

裏面へ→

○冷却

- 屋根や畜舎周辺に散水する
- 細霧発生装置を利用し、気化熱と送風で温度を下げる
- ドリップ滴下により体感温度を下げる

〔 繁殖豚：首元から首筋に当たる位置
肥育豚：排泄場所近くに落とす 〕



ペットボトルに水を入れて凍らせたペットボトルクーラーを利用すると、低コストで実施できます。
なお、畜舎内の湿度が高くなり過ぎないように、畜舎内の散水は日中だけにしましょう。

《飼養管理面の対策》

- 新鮮な水を十分に飲めるようにする
 - 授乳中の母豚は1日当たり20リットル程度の水を飲み、夏場はその2-3倍以上の飲水量が必要です。
 - 分娩舎での給水器からの水量は2リットル/分（15秒で500mlペットボトル1本分）が必要とされています。
 - 十分な水量がでているか給水器の水量を点検、清掃しましょう。
- 密飼を避ける
- 涼しい時間帯に飼料を給与し、給与回数を増やす
- 塩分、ビタミン、ミネラル(セレン、亜鉛)の補給
- 飼料の品質劣化に注意する
- 交配は涼しい時間帯に実施し、雄豚の負担を減らすため、交配頻度は週1~2回にする

暑熱の影響は秋以降の生産性低下にもつながります。
早めに対策を実施し、生産性の低下を最小限に抑えましょう！！

**暑熱対策のご相談やドロマイト石灰塗布用動力噴霧機
についてのお問い合わせは、庄内家畜保健衛生所まで**

電話番号 0235-68-2151